

# 2021 年度事業計画

自 2021 年 7 月 1 日 至 2022 年 6 月 30 日

- 【真宗保育理念】 「本願に生き、ともに育ちあう保育」  
【総合テーマ】 「ともに生き ともに育ちあう保育を实践しよう」  
【基本認識】

## ＜あらためて「真宗保育」の公益性の確かめを

—宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要の機会に—>

当協会の公益性は、全国 438 施設、約 4 万人の在園児とその保護者・関係者を対象とした乳幼児教育・保育、子育て支援の現場と、仏教精神に基づく保育方針によって保たれてきた。

それは、真宗大谷派の青少幼年教化事業が、宗派関係者の青少幼年期に限定したのではなく、あらゆる人々の生涯を通じた学びに資することを目的として取り組まれてきた流れを受け継いでいる。その一翼を担う大谷保育協会は、「真宗保育」の理念を掲げ、公益社団法人として現代社会に存在することを選択して、「ともに生き ともに育ちあう保育」に取り組んできた。

2021 年度事業においては、宗祖である親鸞聖人の御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要（以下、慶讃法要）を目途に、あらためて「真宗保育」の持つ公益性を確かめる機会として、諸事業に取り組んでいきたい。

## ＜協会内各機関における一貫した方向性の共有と連携＞

これまでの諸事業の实践からは、以下のような課題が抽出されている。

- ・「真宗保育」を掲げる各施設の保育者育成を目的とした、より具体的な保育実践につながる「真宗保育カリキュラム」の活用。（真宗保育研究所）
- ・「真宗保育カリキュラム」を解説、提案、企画できる保育者を養う途切れない研修事業の实施。その研修事業の公開性。（研修部）
- ・「保育心理士資格取得プログラム」による質の高い実践と、実践のフォローアップ体制構築。（保育心理士会）

これらの課題を踏まえ、一貫した方向性を持って諸事業を構築していけるよう、担当部間で共有し連携する。

今年度冒頭に大阪支部内で開催される「第 19 回全国真宗保育研修大会」は、研修テーマ「まなぶ」の総括点検の機会でもあるため、課題共有と連携の起点としていきたい。

## ＜対面型の研修機会の回復をめざして＞

保育者育成の核となる研修事業の多くがオンライン開催となった昨年度。その経験は、貴重な意見交換や協議においては、相手との間合い、表情を感じる“対面”の大切さを再確認する機会にもなった。

協会としては、保育者のスキルとしても“対話する保育実践”を重要視し、新型コロナウイルス対応を十分に行ったうえで、対面型研修を志向していきたい。

## 【重点施策】

### (1) 『真宗保育カリキュラム』を基軸にした事業の展開

#### ① 『真宗保育カリキュラム』の普及・活用

研修や保育実践における『真宗保育カリキュラム』の活用が増えたことで、その状況をフォローする体制が必要になっている。各部門と連携をとりながら、さらに『真宗保育カリキュラム』の普及を図り諸課題に取り組む。

#### ② 普及・活用のための人材養成、実践体験の還元

さまざまな乳幼児教育・保育関係者との対話によって、「真宗保育」が広く公開されていくよう、「真宗保育について語れる人」の誕生を課題としている。

また、真宗保育カリキュラムの実践を、各種研修・広報などを通じ関係者に還元する場を持つことで、乳幼児教育・保育経験を共有していく。

### (2) 研修テーマ「まなぶ」の総括作業を受けた新テーマの発表

#### ① 第19回全国真宗保育研修大会（大阪会場）

第19回全国真宗保育研修大会については、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が適用されている状況を受け、オンライン開催とする。

期 日：2021年7月3日（土）

会 場：難波別院御堂会館

総合テーマ：「まなぶ」～子どもにまなぶ視座～

基調講演：「あそびにまなぶ」

～こども主体のほんとう「真」に大切「宗」な保育実践とは～

講 師：富岡 量秀氏（大谷大学教育学部教育学科 教授）

分科会：①「真宗に学ぶ」～それは真宗に私の生き方を学ぶということ～

講 師：酒井 義一氏（東京教区第5組 存明寺 住職）

②「源流に学ぶ」～大谷派における社会事業の源流～

講 師：佐賀枝夏文氏（真宗大谷派青少幼年センター 研究員）

③「教化実践の場である社会事業に学ぶ」

一人十色の人生観 ～暮らしの中にある念仏者の相～

講 師：太田 宣承氏（仙台教区花巻組 碧祥寺 住職）

その他：「語りに学ぶ」～ジャズ講談 ごんぎつね～

講 師：玉田 玉秀斎 with ジャズカルテット

#### ② 次期研修テーマの検討に向けた取り組み

第19回全国真宗保育研修大会（大阪会場）の開催にあわせて、新研修テーマを発表する。協会の研修に通底するテーマとし、さらに、各連区・支部においても同テーマでの研修開催を奨励していく。

### (3) 保育心理士の育成並びに活動支援の充実

#### ① 保育心理士の育成

「心によりそう保育者」を目指して2000年度より始まった保育心理士資格認定事業は、現在全国に3,818名の保育心理士を誕生させている。「保育心理士」は特許庁

によって名称使用の専有が許可され認知度も向上しており、開かれた資格として社会貢献の一端を担っている。資格には5年以上の現場経験を有する1種と養成校において学び、現場への橋渡しとなる2種がある。

新型コロナウイルスの状況により講座開催への支障も予想されるが、オンライン開催等の方策を推進し、保育心理士育成に滞りのないようすすめる。

## ②保育心理士養成校の拡充

真宗大谷派学校連合会の幹事校である大谷大学をはじめ、学事施設との連携を密にし、さらに保育心理分野について、情報共有や学術的な取り組みが深まるよう養成校との関係構築、土壌整備に取り組む。

【(1種)同朋大学大学院、(2種)九州大谷短期大学、京都光華女子大学、同朋大学、飯田女子短期大学、東亜大学、九州産業大学、大谷大学、仁愛女子短期大学】

## ③保育心理士資格取得講座のキャリアアップ研修認定

国における保育士等のキャリアアップ体系構築の動きに際して、当資格の人員育成を推進するために、同講座を開催している都道府県での認定手続きを進め、全国的広がりをめざす。

### 【認定都道府県】

北海道、岐阜県、愛知県、京都府、兵庫県、福岡県、熊本県、鹿児島県、宮崎県

## (4) 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要関連事業に向けた取り組み

### ① 関連事業推進のためのプロジェクトの始動

協会諸事業にかかわる人材発掘の機会としてプロジェクトを始動する。加盟園の「真宗保育」の乳幼児教育・保育、子育て支援の現場の実践課題を踏まえた関連事業の持ち方を検討する。

### ② こどものうた事業総括に向けた取り組み(担当:広報部)

宗派の慶讃法要を機会に、こどものうた事業の総括として、協会の研修テーマを題材に制作してきた楽曲のアルバム及び楽譜を制作し、ひろく周知を図る。

## (5) 広報・課題発信の拡充

宗派の慶讃法要を機会に、広報・課題発信の拡充を図りたい。『真宗保育』他、宗派の定期刊行物との連携など、さまざまな媒体を通しての広報・課題発信を試行していく。

長引く新型コロナウイルス感染状況下、対面型の研修機会の回復をめざしていくことと併せて、広報部・研修部が連携し、協会ホームページを活用しながら、過去の視聴覚教材等の掘り起こしをするなど、自己研鑽や情報発信の一助となるよう検討する。

## (6) 真宗保育の現場の人材確保に向けた取り組みの拡充

保育現場の人材確保が年々難しくなる状況において、宗派関係学校の協力、連携により、協会加盟園の周知と昨年度始動した採用情報提供の拡充に取り組む。

## I-1 調査研究事業

真宗保育は子どもたちだけではなく、保育者も成長させるものでなければならない。そのような保育となるために、真宗保育についての基礎的研究を行う。真宗保育の理念、実践方法などについて研究を引き続き行う。

また、この研究結果を頒布事業、研修、資格認定事業などに反映し、真宗保育の公共性・公開性をはかる。

### (1) 基礎研究

- ① 諸研究機関並びに学識経験者とともに真宗保育における課題、保育原理、カリキュラムについて学術的アプローチをおこない、保育、教育、子育てにかかわる人々への普及を促進することを目的に「真宗保育研究所会議」を引き続き開催する。
- ② 真宗大谷派学校連合会の幹事校（大谷大学・光華女子大学・同朋大学／保育者養成校）の教員を交えて、『真宗保育カリキュラム Vol.1.1～3』の学術的表現への展開を図る。
- ③ 『真宗保育カリキュラム』の一層の普及・深化への具体的方法を協会各部門と連携しながら考察していく。例えば、カリキュラムの携帯版（PDF化）についての検討、教材作成への提言・意見交換（研修部・出版部）、各園における『真宗保育カリキュラム』の使用法・具体的反応の収集と紹介（広報部）、各研修会への講師派遣（研修部）などの推進を図る。
- ④ 研修テーマである「まなぶ」について研究していく。具体的には経典、聖教などの言葉を用いながら学術的にアプローチすることにより、研修テーマをより重層的、多角的に学ぶ一助とする。後に協会全体に何らかの形で公表できるようつとめる。さらには協会内の他の部門とも連携し、協会全体で研修テーマについて深められるための一翼を担う。

### (2) 臨床研究

- ① 臨床心理士会や学校心理学会などが学校現場で活躍し、かつ保育の現場に対応すべき人材の養成などを検討していることに鑑み、保育心理士の学問的根拠を明確にし、保育心理学会の設立を視野に入れた調査研究を実施する。その土壌養成のため「保育心理研究会」を開催する。
  - ・第14回保育心理研究会
  - 期 日：2022年1月開催予定/ 会場・講師：未定
- ② 保育相談及び育成指導  
研究事業、研修事業、認定事業で蓄積された技術や知識をもって、各保育施設における保護者への子育て相談及び保育者の育成指導を行う。

## I-2 教材・書籍・研究誌頒布事業

研究事業、研修事業、認定事業の成果をもとに、保育内容の充実を図るための教材を、ホームページやパンフレット、研修での広報を活用して頒布に努める。

また、園児の絵画を募集し、御正忌報恩講期間中、真宗本廟（東本願寺）や京都駅地下ギャラリーに展示する園児絵画展を開催する。応募作品の一部で「しんしゅうこどもかれんだー」を発行し、市民に子どもたちの姿を伝える。

保育者の資質の向上に資する機関誌や書籍等を頒布し、子育てに関する情報提供を行う。

### (1) 保育教材の頒布

#### ① 各教材の頒布

既存教材については前年度程度の頒布を行う。

教材・物品名	価格	仕入値	仕入予定数	頒布予定数
合掌人形 しんらんさま	550 円	320 円	-	200
うでわ念珠 青 子ども用	200 円	174 円	1000	1000
うでわ念珠 青 大人用	200 円	184 円	1000	1000
うでわ念珠 ピンク 子ども用	200 円	174 円		1000
うでわ念珠 ピンク 大人用	200 円	184 円		1000
白念珠	120 円	105 円	-	800
念珠袋	280 円	235 円	1000	800
おつとめちょう	100 円	40 円	-	500
真宗保育のカリキュラム入門	530 円	240 円	-	30
八女ちょうちん	180 円	107 円	500	500
しんしゅうこどもかれんだー	270 円	238 円	6000	5500
真宗保育の源流をたずねて	200 円	186 円	-	10
真宗保育カリキュラム vol. 1	1,500 円	1,827 円	-	100
真宗保育カリキュラム vol. 2	1,000 円	859 円	-	100
真宗保育カリキュラム vol. 3	1,000 円	575 円	-	100
こどものうた①「誕生」CD	500 円	388 円	-	10
こどものうた②「そだつ」CD	500 円	337 円	-	0

#### 〈真宗保育ブックレットシリーズ〉

教材・物品名	価格	仕入値	仕入予定数	頒布予定数
10. 真宗と保育（一楽真）	280 円	105 円	-	100
11. いのちありがとう（真城義麿）	240 円	151 円	-	10
13. 真宗保育をデザインする（富岡量秀）	250 円	160 円	-	50
14. 唯我独尊の教え-誕生の意味-(吉元信暁)	240 円	175 円	-	50
15. 「する」から「ある」へ —養育論の試み—（芹沢俊介）	350 円	125 円	-	500
16. 真宗保育をデザインするⅡ —カリキュラム・マネジメントの視座—（富岡量秀）	300 円	165 円	-	500
17. サガエさんの「講義ノート」-真宗保育編- （佐賀枝夏文）	250 円	—	-	500

## (2) 新教材の発行

- ① 園児絵画展に応募された作品で「しんしゅうこどもかれんだー」を作成する。
- ② 真宗保育カリキュラムNo.1については、増刷若しくはPDF化を行う。

## Ⅱ 幼児教育、保育関係者の資質向上事業（公益目的事業）

### Ⅱ-1 研修事業

研修会においては、参加者の経験年数に応じ、新たな視点・視野を発見することにより、現場での保育実践に望めるよう研修内容をより深めていく。

また、第19回全国真宗保育研修大会(大阪)で新しい研修テーマを発表し、各支部での研修に向けて事例等を提示できるように協議・検討を行う。

研修テーマ「まなぶ」からさらに展開できるようなテーマを提示し、研修を通して学び、保育現場で実践が確かなものになるよう研鑽に努める。

#### (1) 研究会・研修会事業

##### ① 第19回全国真宗保育研修大会

開催形式：オンライン開催

期 日：2021年7月3日（土）

会 場：難波別院御堂会館

総合テーマ：「まなぶ」～子どもにまなぶ視座～

基調講演： 「あそびにまなぶ」

～こども主体のほんとう「真」に大切「宗」な保育実践とは～  
講 師：富岡 量秀氏（大谷大学教育学部教育学科 教授）

分科会：①「真宗に学ぶ」～それは真宗に私の生き方を学ぶということ～  
講 師：酒井 義一氏（東京教区第5組 存明寺 住職）

②「源流に学ぶ」～大谷派における社会事業の源流～  
講 師：佐賀枝夏文氏（真宗大谷派青少幼年センター 研究員）

③「教化実践の場である社会事業に学ぶ」  
一人十色の人生観 ～暮らしの中にある念仏者の相～  
講 師：太田 宣承氏（仙台教区花巻組 碧祥寺 住職）

##### ② 第64回仏教保育大学講座 事前学習会

期 日：2021年7月開催予定

開催形式：オンライン開催

会 場：真宗大谷派宗務所

参 加 者：仏教保育大学講座 指導員・生活指導員

##### ③ 第64回仏教保育大学講座（真宗十派共催・浄土真宗本願寺派当番）

誰しもが数年の保育経験によって、自分の保育に対して限界を感じたり、さまざまな悩みを持つ。それらの事柄に向かいあえるよう親鸞聖人の教えに耳を傾け、自らの保育経験を省みる機会とする。

日程においては、少人数のグループ討議をするなかで、保育者自身の自己発見をすることにより保育観や保育姿勢を確認し深めあう。

対 象：2年目以上の保育者

期 間：2021年8月1日（日）～4日（水）

会 場：真宗本廟・真宗大谷派宗務所・しんらん交流館

講 師：梶原 敬一氏（真宗大谷派僧侶・姫路第一病院小児科部長）

募集人数：50名

④ 新任研修会

(新型コロナウイルス感染拡大によっては、オンライン開催での研修も検討)  
各園の新任職員が園に従事してもつ戸惑いや疑問を通して、保育の新たな視点を学ぶ。また、仏教行事をとおして子どもたちに伝えたいことを知る。

対象：1年目の保育者

期間：2022年1月開催予定

会場：未定

講師：田村晃徳氏（真宗保育研究所所長）

募集人数：20名

⑤ 主任・中堅保育者研修会（奉仕団）

保育を実践していくうえで、現場保育者の中心的存在となる主任・中堅保育者の位置づけは非常に重要である。真宗本廟を会場とし、親鸞聖人の開かれた真宗の教えを聞き、真宗保育の視座を確認し実践にいかしていく。

対象：主任・中堅保育者（保育経験5年以上）

期間：2022年6月開催予定

会場：真宗本廟境内及び同朋会館（予定）

講師：未定

募集人数：20名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3ポイント付与）

⑥ カリキュラム研修会

(新型コロナウイルス感染拡大によっては、オンライン開催での研修も検討)

『真宗保育カリキュラム』の普及・活用のため、日々の保育現場で保育者が『カリキュラム』をテキストとして、どのように活用すべきか研修・協議することを目的として開催する。

対象：保育者

期日：2022年5月開催予定

会場：真宗大谷派宗務所

講師：田村晃徳氏（真宗保育研究所所長）

募集人数：50名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3ポイント付与）

⑦ 協会主催研修のシラバスの整備

協会主催の研修（新任研修会、仏教保育大学講座、主任・中堅保育者研修会、保育心理士、カリキュラム研修会）のシラバスの作成を進め、保育者の経験年数に応じた研修の内容を充実させる。

⑧ 協会主催研修の「キャリアアップ研修」の認定取得

昨年度から各都道府県ですすめられている「保育士等キャリアアップ研修」認定に関し、協会主催研修のシラバスを活用し認定取得をめざす。また、先行して、将来、受講証明が可能となるよう、各研修の参加者に受講証を発行する。



## Ⅱ-2 資格認定事業

保育心理士の資格認定、フォローアップに関する事業を行う。

保育心理士が学びの対象としているのは主に、全体の6%ともいわれる、いわゆる「気になる子どもたち」であるが、学びを通して、広く園児全体を見渡せる眼を持つことを目指し、より専門的な保育者の資質向上に努めている。

国や地方自治体とも連携を取りながら、保育心理士資格を拡充し、保育心理士空白県の早期解消を目指す。

また、2013年度から2種資格に有効期限を設けたことに伴い、引き続き1種資格への誘導を促進する。あわせて年会費徴収の向上を目指す。

保育心理士資格取得講座においては、2017年度より開始した保育士等キャリアアップ研修の認定取得に継続して取り組む。

### (1) 保育心理士資格取得講座・フォローアップ講座

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、修了式日程以外の科目について特例としてオンライン開催とする。

#### 【本部主催資格取得講座】

##### ①京都会場

《第1～6日程》

開催形式：オンライン開催

開催期日：2021年7月～9月

《修了式日程》

開催形式：結集型開催

開催場所：真宗大谷派宗務所

開催期日：2021年9月

##### ②九州会場

《第1～6日程》

開催形式：オンライン開催

開催期日：2021年10月～11月

《修了式日程》

開催形式：結集型開催

開催場所：九州大谷短期大学（予定）

開催期日：2021年11月

##### ③東京会場

《第1～6日程》

開催形式：オンライン開催

開催期日：2021年10月～12月

《修了式日程》

開催形式：結集型開催

開催場所：聖徳大学幼児教育専門学校（予定）

開催期日：2021年12月

#### ④名古屋会場

《第1～6日程》

開催形式：オンライン開催

開催期日：2021年7月～9月

《修了式日程》

開催形式：結集型開催

開催場所：名古屋市内

開催期日：2021年9月

#### 【本部主催フォローアップ講座】

開催形式：オンライン開催

開催回数：3回（予定）

#### (2) 保育心理士フォローアップ講座

5年の期限がある保育心理士資格の更新のためにフォローアップ講座を開催する。講座開催地域を広げるため、エリア、連区、支部が主催して行う。

#### (3) エリア、連区、支部研修会での資格取得講座の開催

保育心理士資格取得講座の全国展開のため、エリア、連区、支部より申請があった場合には、申請を受理し、エリア、連区、支部が主催となって開催する。

#### (4) 「保育心理士会賛助会員」の募集

保育心理士資格の更なる普及と、多くの方々の理解を得るために賛助会員を募る。

#### 保育心理士会賛助会員・賛助会員年会費

認定種別	年会費	対象者	加入条件
一種会員	3,000円		
二種会員	3,000円		
賛助会員（個人・法人）	3,000円	設置者	保育心理概論の講義受講で入会可

#### (5) その他

##### ① 認定に関する諸会議

#### 【保育心理士認定委員会】

年に2回程度(2021年9月・2022年2月)開催

会 場：真宗大谷派宗務所（予定）

#### 【保育心理士会集会】第14回保育心理研究会と併催

期 日：2022年1月開催予定

会 場：未 定

#### 【保育心理士講師集会】

必要に応じて開催

#### 【保育心理士会幹事会】

年に3回程度開催、期日・会場 未定

**【エリアマネージャー会議】**

期 日：2022年1月開催予定

会 場：真宗大谷派宗務所（予定）

- ② 保育心理士（1種・2種）養成校との協議会  
必要に応じて開催

### Ⅲ 啓発・広報事業（公益目的事業）

保育者、保護者等子育てにかかわる人、団体等に情報を発信し、子育て支援の一端を荷う。当協会の活動を一般社会に公開し、研修事業等への参加を呼び掛けるとともに、子育てや心の課題に関する情報を提供する。

#### （１）機関誌等の配布

- ① 月刊誌「真宗保育」第 467～478 号を頒布する。  
「巻頭コラム」は、協会内外から「真宗保育」についての意見が発信されるコーナーとする。
- ② 機関誌「ほいくしんり」（協会編、エイデル研究所発行）を頒布する。

#### （２）協会ウェブサイト ホームページの運営

協会の活動を外部へ分かりやすく、親しみのある情報発信につながるよう、コンテンツの見直し等を含め、引き続き検討を重ねていく。

また、支部や加盟園で行っている活動報告を掲載するなど、協会全体で情報を共有できるよう連携を図っていく。

#### （３）園児絵画展

加盟園での情操教育の基礎となっている真宗保育に触れていただくことを願いとして、園児の絵画を公募し、すべての作品を御正忌報恩講期間にあわせて、京都駅公益地下ストリートギャラリーや真宗本廟（東本願寺）に展示する他、協会ホームページ上において作品を公開する。

期 間：2021 年 11 月 13 日（土）～11 月 28 日（日）

会 場：真宗本廟（東本願寺）御影堂北側高廊下・しんらん交流館  
京都駅公益地下ストリートギャラリー

対 象：全国加盟園及び京都市内の幼稚園・保育園・認定こども園の園児

#### （４）“こどものうた” 事業

宗派の慶讃法要を機会として、2013 年度より 1 期 2 年間、研修テーマを題材として、楽曲制作を行ってきた「こどものうた」は、2021 年 7 月の第 19 回全国真宗保育研修大会（大阪）において第 4 期「こどものうた」（曲名：はじまりのうた）の制作発表を行う。今後は、この第 4 期「こどものうた」の広報活動を展開し、さらに第 5 期事業として、これまで行ってきた楽曲制作（第 1 期～第 4 期）の総括 CD アルバムを制作発行する。

#### （５）広報・課題発信の拡充

協会の広報拡充として『真宗保育』、宗派の定期刊行物との連携や、オンラインによる広報展開など、さまざまな媒体を通しての広報を試行していく。

#### （６）「子どもの森づくり運動」への参加

NPO 法人子どもの森づくり推進ネットワーク主催による、就学前児童に向けた『自然体験学習プログラム』普及への協力団体として希望園が参画し、自然保護、環境学習の意識高揚に努める。（現在、8ヶ園の加盟園が参加している）

#### IV 加盟園交流事業（相互扶助等事業）

「子ども・子育て支援新制度」についての情報交換、施行にともなう協会加盟園の動向についての把握に努める。全国支部よりご参加いただく設置者・園長・後継者との情報交換や交流を行う。

##### （１）人材発掘のための取り組み

研修会等において協会の活動内容を周知し、協力を要請する。

##### （２）設置者・園長等研修会

各加盟園の設置者・園長自身が『真宗保育カリキュラム』を活用し、真宗保育を「語れる人」となることを目的して開催する。

また今年度は、宗派の慶讃法要を迎えるにあたって、加盟園の設置者や園長とともに意見交流を行うことを目的とする。

対 象：理事・園長・設置者・後継者

期 日：2022年2月開催予定

開催形式：オンライン開催

募集人数：50名

##### （３）加盟園加入促進

真宗大谷派関係寺院が運営する協会未加盟の幼稚園、保育園、認定こども園に働きかけ、加盟園の増加に努める。

##### （４）各種保育団体との渉外

各種会合、記念式典等への参加を通じて、各種保育団体との連携、情報交換に努める。

##### （５）「青少幼年センター」「しんらん交流館」事業との連携

宗派の青少幼年教化に関する施策事業と連携、共同事業などの方向性等の情報収集に努める。

##### （６）会報「大谷保育」の発行

会報「大谷保育」を毎月1回発行し、全加盟園に配布する。協会内の各種研修会のお知らせ等を掲載する。

##### （７）「加盟園就職支援ポスター」の発行について

幼稚園教諭や保育士を目指す養成校の学生に向け、協会の加盟園の周知の他、就職先の選択肢の一つになることを願い、加盟園就職支援ポスターを制作する。

##### （８）その他事業

###### ① 表彰

ア. 保育功労者表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

イ. 永年勤続表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

ウ. 感謝状

会員の園職員が退職するときは、各園（各支部長経由）より報告を受け、感謝状を送る。

エ. 祝電・弔電

加盟園が記念行事等を開催した場合は祝電を送る。また、加盟園の設置

者・園長などの功労者が逝去された場合は、弔電を送るとともに加盟園へ伝達する。(各支部長経由)

② 入園式・卒園式への祝辞

各加盟園の入園式・卒園式へ理事長名の祝辞を送る。

③ 各園での記念式典への感謝状

園設立周年行事などに際して、園や協会に対してご功績ある方々に協会名で感謝状を送る。

## V 管理部門

協会の総務（経理・労務・人事等）を遂行し組織運営の安定と活動を支える。

公益社団法人として公開すべき情報（電子公告）を適時公開する等、幼児教育・保育団体としての当協会の活動を広く世間に知らせていく。

### （１）管理業務の遂行

販売管理システムを活用した物品販売作業、在庫管理を行う。

### （２）協会 I C T 環境の維持、運営

公益法人として公開すべき協会の情報を（電子公告等）公開し、社会的責任を果たす。また、協会の I C T インフラの維持運営、協会保有データの保全に関して、機密性を維持するとともに適時改善する。

今年度は、新型コロナウイルス対応の社会的状況を受け、協会としてもオンラインによる会議、研修、広報等、さまざまな可能性を各部門連携のもと試行していく。

### （３）採用情報の提供

保育士、保育教諭、幼稚園教諭等の人材確保に資するため、就職活動中の関係学校生対象に、大谷保育協会加盟園への採用情報をポスター類やホームページを用いて提供する。特に関係学校の大谷大学を中心とした養成校との連携を深めながら事業に取り組む。

### （４）協会を P R するパンフレット等の作成

幼児教育・保育団体としての当協会の活動を広く P R するため、パンフレット等の作成を行う。

### （５）加盟園情報の収集、管理

会費納入手続き、入会手続きの機会を活用し正確な加盟園情報の収集、管理を行う。定期的な加盟園名簿の改訂を行う。

### （６）常務理事会に関する事項

年に 3 回以上必要に応じて開催。

### （７）役員会等に関する事項

#### ① 理事会に関する事項

ア. 第 2 4 回（事業報告・決算承認）

期 日：2021 年 8 月 30 日（月）／会場：真宗大谷派宗務所

イ. 第 2 5 回（次年度予算・事業計画）

期 日：2022 年 5 月開催予定／会場：真宗大谷派宗務所

第 1 0 回総会

期日：2021 年 9 月 15 日（水）／会場：しんらん交流館

※いずれも W E B 会議（Z O O M 使用）にて開催する。

**(8) 諸会議に関する事項**

- ① 正副部所長会 年1回以上必要に応じて開催  
年間活動計画の策定と活動状況の報告を行う。
- ② 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に向けた事業構築のためのプロジェクトの始動
- ③ 総務部会に関する事項 活動の状況に応じて随時開催
- ④ 新型コロナウイルス対応